

WHO ファクトシート

視力障害と失明

Visual impairment and blindness

ファクトシート No. 282

2014年8月

重要な事実

- ・世界で視覚障害がある人々は2億8500万人いると推計される。そのうち3900万人は目が見えず、2億4600万人は低視力である。
- ・世界の視覚障害者の約90%は低所得国に住んでいる。
- ・目の見えない人の82%は50歳以上である。
- ・世界的には、屈折異常を矯正しないことが軽度や重度の視覚障害の主原因となっている。中・低所得国では、白内障が失明の一番の原因である。
- ・世界的推計によれば、感染症によって視覚障害になる人々の数は過去20年間で減少している。
- ・全ての視覚障害の80%は予防し、治療することができる。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権をWHO事務局長より付与され、WHO健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本WHO協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Visual impairment and blindness ファクトシート原文は [こちら](#)